

# 国際姉妹都市提携

## 姉妹都市提携に繋がる歴史的な縁

仙台とアカプルコの関わりは、遥か400年前まで遡ります。

仙台藩主伊達政宗は、メキシコとの直接交易と領内への宣教師派遣を要請するため、支倉常長ら慶長遣欧使節をスペイン国王・ローマ教皇のもとへ派遣します。1613年10月、「サン・ファン・バウティスタ号」に乗り込み月浦を出航した使節団は、3ヶ月かけて太平洋を横断し、1614年1月下旬にアカプルコへ上陸しました。使節団はメキシコにて国賓級の待遇で歓迎されたと伝えられており、その後、約4ヶ月にわたるメキシコ滞在を経て、スペイン・ローマへと向かうこととなります。

## 姉妹都市提携に至るまでの流れ

支倉常長生誕400周年を記念し、支倉常長顕彰会が、記念式典の実施、伝記の刊行とあわせて、1972年に青葉山に支倉常長像を建立しました。その際、慶長遣欧使節の上陸地であるアカプルコにも同じ銅像を建てようという機運が盛り上がり、宮城県、河北新報社、仙台市が、アカプルコ市への銅像の寄贈をメキシコ大統領に申し入れます。その後、駐日メキシコ大使館や外務省の協力もあり、アカプルコへの銅像設置の機運とともに、仙台市とアカプルコ市の姉妹都市提携に向けた機運も盛り上がっていきました。その結果、1973年10月に、小岩・仙台市助役がアカプルコ市を訪問し、23日にアカプルコ市との国際姉妹都市協定に調印し、翌24日にはアカプルコに寄贈された支倉常長像の除幕式に参加しました。歴史的な縁をもとに二つの都市は姉妹都市となり、その後40年にわたり友情を育み、交流を進めていくこととなります。



(国際姉妹都市提携調印式に臨む仙台からの訪問団)

# 姉妹都市交流経過

両市のこれまでの交流について、市役所及び国際交流協会が関わってきたものを中心に紹介します。

1973年10月	小岩・仙台市助役、行方・仙台市議会議長、宮城県知事、河北新報社社長ら仙台市からの訪問団約40名がアカプルコを訪問し、アカプルコ市に寄贈された支倉常長像の除幕式と姉妹都市提携調印式に出席した。
1976年11月	島野・仙台市長が、アカプルコ市を親善訪問した。
1978年5月	フィゲロア市長夫妻が、メキシコ観光キャンペーングループとともに、アカプルコ市長として姉妹都市提携後初めて仙台を訪問した。
1979年4月	国際児童年に際し、メキシコ児童家庭福祉協会及びゲレーロ州社会活動国家基金共催により「国際児童砂の彫刻コンクール」がアカプルコで開催され、仙台の中学生3名が日本代表として招待を受け、参加した。世界32か国、168名の児童たちと美術を通じて交流を行った。
1980年4月	メキシコ親善交流使節団がメキシコを訪問した際、仙台市民12名がアカプルコ市長への表敬訪問を行った。
1982年4月	在仙の舞踊団体教師が、日本伝統芸能グループの団長としてメキシコを訪問した際、仙台市民3名とともにアカプルコ市長への表敬訪問を行った。翌日、市内公園ステージにて日舞を披露した。
1985年8月	広島・長崎での国際会議に出席するため来日したアルグディン・アルカラス・アカプルコ市長夫妻等12名が来仙した。仙台市長表敬訪問や支倉常長像視察を行った。
1989年8月	仙台で行われる国際姉妹都市会議出席のため、アカプルコ市長代理が来仙した。
1991年3月	第1回仙台国際ハーフマラソン大会が開催され、姉妹都市等選手団としてアカプルコ市からの選手が参加した。この後、一時期参加できない時期もあったものの、現在に至るまで継続して参加している。
1995年11月	仙台国際交流協会主催市民訪問団28名がアカプルコ市を訪問した。
1997年10月	ハリケーン「ポーリーン」がアカプルコを中心とするメキシコを襲い、メキシコ全土で死者約400名、被災者2万人という大きな被害が発生した。アカプルコ市に対し、仙台市からの支援金と、仙台国際交流協会が中心となって集められた「アカプルコ・ハリケーン災害復興義援金」が送られた。
2003年10月	姉妹都市提携30周年を記念して、仙台国際交流協会主催市民訪問団20名がアカプルコ市を訪問した。記念式典Expo-Japanの開催、両市の子どもの絵画作品の交換などが行われた。また、アカプルコ市からの招待を受け、第3回アカプルコ国際ハーフマラソン大会に仙台市選手団が参加した。
2004年1月	藤井・仙台市長、斎藤・仙台市議会副議長ら仙台市公式訪問団がアカプルコ市を訪問した。
2004年8月	日本愛好家の団体「日本のともだち協会」が仙台を訪問し、市民とホームスティや歓迎会を通じて交流した。
2008年3月	「日本のともだち協会」が仙台を訪問し、市民との交流を行った。
2009年1月	仙台市訪問団がアカプルコ市を訪問した。
2009年9月～10月	日本メキシコ交流400周年を記念し、藤崎前やせんだいメディアテークで、「フィエスタ・メヒカーナin仙台」。宮城県美術館にて「メキシコ・アカプルコ写真展」、エル・パーク仙台にて「メキシコ映画祭～黄金期のメキシコ映画上映会～」を開催した。楽団「マリアッチ」の演奏によるメキシコ音楽や、伝統舞踊の披露、メキシコ大使館職員によるメキシコの魅力プレゼンテーションなどが行われた。
2010年7月	伊藤・仙台市副市長ら仙台市公式訪問団がアカプルコ市を訪問した。日本メキシコ交流400周年を記念して開設された「日本広場」の開設式と支倉常長像の移転除幕式に参加した。
2011年3月	東日本大震災が発生し、アカプルコ市よりお見舞いのメッセージが届いた。また、パニョス・アカプルコ市長や「日本のともだち協会」の皆さんが被災者を悼み、日本広場にて献花を行った。
2011年9月	仙台市よりメキシコ宮城青葉会へ、仙台市連坊小路小学校の生徒が作製した仙台七夕飾りを贈った。七夕飾りは、日墨協会の行事や、在メキシコ日本大使館での式典、現地学校らで展示されている。
2013年4月	日系人の組織「日墨協会」関係者が来仙し、市長表敬を行った。
2013年6月	日本の大型客船「飛鳥Ⅱ」がアカプルコに寄港した際、乗客に対し姉妹都市40周年についてPRを行った。

※太字は、本写真展の中で説明や写真により紹介している交流事業です。



1978年 姉妹都市提携後、アカプルコ市長として初めて仙台を訪れたフィゲロア市長



1979年 アカプルコの「国際児童砂の彫刻コンクール」に参加した仙台の中学生



1980年 仙台市民によるアカプルコ訪問。支倉常長像前で記念撮影。



1982年 仙台の舞踊団体によるアカプルコ訪問。アカプルコ市内にて日舞の披露が行われた。



1985年 アカプルコ市長夫妻による仙台訪問。青葉山の支倉常長像前で記念撮影。



1995年 仙台市民がアカプルコを訪問し、日本文化紹介を行う。



# アカプルコを襲ったハリケーン・ポーリーン

1997年10月8日から9日にかけて、大型のハリケーン・ポーリーンがメキシコ本土を直撃し、アカプルコ市とその近郊にあるオワハカ市が被害の中心となりました。その被害は甚大で、当時のメキシコ赤十字の情報によると、メキシコ全土で死者約400名、被災者約20,000人、家屋被害としては、全壊が約5,000戸、一部損壊が約25,000戸と伝えられています。

ポーリーンによる被害の報道を受け、仙台市では、10月14日付で市長名によるお見舞い状を送付しました。また、日本円にして1,000,000円を支援金としてアカプルコ市へ送金しています。

また、在仙の交流団体からも支援活動への協力の声が寄せられたことから、仙台国際交流協会が中心となって「アカプルコ・ハリケーン災害復興義援金」を設置し、支援を広く呼びかけました。交流団体の会員による街頭募金や、市内オフィスビルに設置された募金箱などにより集められた仙台市民からの支援の気持ちは、仙台市からの支援金とともにアカプルコ市へと送られ、同市の復旧復興へと役立てられました。



(アカプルコ市内の被害)

*Dr. Manuel Anorve Baños*  
PRESIDENTE MUNICIPAL DE ACAPULCO

Acapulco, Gro., México, abril 30, 1998.

HAJIMU FUJII  
ALCALDE DE LA CIUDAD  
DE SENDAI

Me es muy grato informarle que los donativos enviados por la Ciudad Hermana de Sendai que usted representa dignamente, han sido recibidos y debidamente registrados en las oficinas de la Presidencia Municipal de Acapulco.

Estas contribuciones serán de gran utilidad para la reconstrucción de Acapulco después de los graves daños que nos ocasionó el Huracán "Paulina" el 9 de octubre del año próximo pasado. Por lo que le expreso en nombre de nuestro pueblo el más profundo agradecimiento por su gesto de humanidad y solidaridad en los momentos difíciles que vivimos y que estimulan nuestro compromiso de ayuda mutua, esperando tener la oportunidad de expresárselo de manera personal.

Adjunto le hago llegar copia de los comprobantes de los giros enviados por usted.

Atentamente



## (アカプルコ市長からの礼状 日本語訳)

1998年4月30日  
仙台市長 藤井 黎 様

アカプルコ市長 マヌエル・アニョルベ・バニョス

本状を持ちまして貴職が代表する姉妹都市仙台市より送られた寄付金が本市役所に到着し、入金がかかるべき形で記録されたことを謹んでお知らせ申し上げます。

このお見舞金は、昨年10月9日に起きたハリケーン・ポーリーンによる重大な被害を受けた本市の復興にあたって非常に有益なものとなることでしょう。よって、ここに、すべてのアカプルコ市民の名の下に、人道的連帯をしめす貴職の温かいご配慮に深く感謝申し上げます。このお見舞金は、まさに私たちが困難な状況に置かれている時期にいただいたものであり、これを機会に、私たちは相互扶助の精神をより一層高めていくことができるでしょう。そして、この感謝の気持ちを個人的に貴職へお伝えする機会を得ることを心から望んでいます。(以下略)

※同じ文面の礼状が、市民等からの募金をまとめて送金した仙台国際交流協会理事長宛にも送られました。

# 姉妹都市提携30周年記念事業

2003年10月には、姉妹都市提携30周年を記念し、「仙台市・アカプルコ市姉妹都市提携30周年記念市民訪問団」がアカプルコを訪れました。訪問団は、福祉施設への訪問、アカプルコの支倉常長像前で行われた30周年記念式典への参加、EXPO-JAPANの開催などを行いました。

EXPO-JAPANは、日本の文化や仙台についてアカプルコ市民へ伝えることを目的に開催された交流イベントです。在仙の商店街から提供していただいた七夕飾りに彩られた会場では、華道・書道などのワークショップや、仙台の工芸品・写真などの展示が行われ、多くのアカプルコ市民で賑わいました。

また、市民訪問団の訪問とほぼ同時期に行われた「第3回アカプルコ国際ハーフマラソン大会」には、アカプルコ市からの招待を受けた仙台市民ランナーが参加し、アカプルコ市内を力走しました。



(災害復興施設CIDEOの子どもたち)



(EXPO-JAPANを楽しむアカプルコ市民)

# 市民交流団体

仙台で活動する「ラテンアメリカ文化友好協会（略称SACLA（サクラ）」は1989年に設立された団体で、中南米諸国の方たちとの交流を中心に活動しています。

1997年、ハリケーン・ポーリーンによりアカプルコが甚大な被害を受けた際には、会員の皆さんが街頭に立ち、仙台市民へ募金の呼びかけを行いました。また、毎年行われている「仙台国際ハーフマラソン大会 姉妹都市等選手団交流会」においても、アカプルコ市選手団との交流の中心となっています。

一方、アカプルコで活動する「日本のともだち協会」は、2003年に日本を愛好するアカプルコ市民有志によって結成された団体です。

発足以来、日本のともだち協会のメンバーは、交流事業や記念事業の運営、イベント等への出展などを通じ、アカプルコでの姉妹都市交流の推進や日本文化の普及などに大きな役割を果たしています。また、日本を訪問した際には、交流会やホームステイなどを通じ、仙台市民との友好を深めています。



（アカプルコ市選手団への記念品贈呈 2012年）



（支倉常長像前での日本のともだち協会訪問団 2004年）



（仙台駅での日本のともだち協会訪問団 2008年）